

3/ 30

(日)

主の招きに応えて

ルカによる福音書二一章29〜38節

しかし、あなたがたは、起ころうとしているこれらすべてのことから逃れて、人の子の前に立つことができるように、いつも目を覚まして祈っていなさい。(36)

主イエスが再び来られるとき、全ての人は神の前に立つことになりました。「人の子の前に立つことができるように」とは、贖われた者の一人として救い主イエスの前に立つことが出来るようにということです。神を信じる者たちは、その罪を裁かれるために御前に立つのではなく、完全なる救いを告げていただくために立つからです。私たちは毎週の礼拝において、主イエスの贖いによって神の御前に立つことが許されている者たちです。その私たちに、再臨の日に備えて、「いつも目を覚まして祈っていなさい」と勧められているのは、命をかけて私たちが神のもとへと招いておられる主イエスの招きにいつも応え続けなさいということです。やがての日に神の前に立つことを心に覚えながら、毎週の礼拝において主の前に立つことをこれから大切にしていきたいものです。